



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場会社名 株式会社 ピエトロ
 コード番号 2818 URL <http://www.pietro.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 村田 邦彦
 (氏名) 池田 邦雄

TEL 092-724-4927

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	2,596	3.0	241	△3.4	228	△8.0	137	△9.0
28年3月期第1四半期	2,521	8.2	250	97.0	248	100.2	151	183.6

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 118百万円 (△27.7%) 28年3月期第1四半期 163百万円 (212.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	23.81	—
28年3月期第1四半期	27.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	9,349	4,838	51.7	781.46
28年3月期	8,365	3,813	45.6	682.01

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 4,838百万円 28年3月期 3,813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	21.00	21.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	2.8	600	14.8	580	14.3	330	4.8	59.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	6,191,630 株	28年3月期	5,591,630 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	529 株	28年3月期	529 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	5,791,101 株	28年3月期1Q	5,591,133 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速や円高の進行により、先行き不透明感が増す状況で推移いたしました。

食品業界及び外食業界におきましては、消費者マインドがより慎重さを増す一方、品質や機能性を求める選別消費の傾向が強まっております。

このような状況のもと、当社グループは、「おいしさと健康」を追求した高付加価値商品のご提供をとおして、ブランド価値の向上に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、食品事業が順調に推移したことから、25億96百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

利益面では、売上総利益が前年同期比4.3%増加したものの、営業力強化のための販管費が増加したことにより、営業利益は2億41百万円（前年同期比3.4%減）、経常利益は2億28百万円（前年同期比8.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億37百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①食品事業

健康志向の商品のご提供をとおしてピエトロブランドの浸透を図るとともに、商品価値を伝える提案型営業をさらに強化し、売上拡大を図ってまいりました。

商品別では、主力ドレッシングのオレンジキャップが堅調に推移するとともに、新商品の「ノンオイル 和風しょうゆ&レモン」と「濃い味 和風しょうゆ&生姜」が好調に推移いたしました。

また、通信販売限定商品につきましては、パスタソースでは「桜えびと4種胡椒のペペロンチーノ」、ピザでは「なすとひき肉の辛味トマトソース」と「チェリートマトと海老のバジルソース」を投入し、品揃えの充実を図ってまいりました。

なお、平成28年4月、ドレッシングの新製造ラインが稼働したことにより、生産能力が大幅に向上いたしました。また同時に、お客様の利便性向上や商品の品質保持を目的として、ボトル容器の改良を行っております。

以上の結果、売上高は19億23百万円（前年同期比2.9%増）、セグメント利益は6億50百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

②レストラン事業

旬の食材を取り入れた季節ごとのメニューとして、「春のごちそうフェア」と地元企業の食材を取り入れた「冷製パスタフェア」を実施いたしました。

また、特典付き会員サービス「ピエトロクラブ」につきましては、関東地区での会員獲得を強化するとともに、会員様向けにフェアメニューなどのご案内を行い、集客力の向上を図ってまいりました。

店舗につきましては、平成28年4月に、新しいスタイルの「PREMIO（プレミオ）ピエトロ 海と畑のパスタ店」を福岡市内にオープンいたしました。当店では、博多らしい魚介類と野菜や果物など、海と畑の食材を活かしたメニューをご提供しております。

以上の結果、売上高は6億31百万円（前年同期比2.8%増）、セグメント損失は25百万円（前年同期は11百万円のセグメント損失）となりました。

③その他（本社ビル等の賃貸）事業

その他（本社ビル等の賃貸）事業におきましては、売上高は41百万円（前年同期比11.7%増）、セグメント利益は22百万円（前年同期比40.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ9億84百万円増加し93億49百万円となりました。これは主に現金及び預金が6億79百万円、有形固定資産（純額）が4億55百万円それぞれ増加する一方、売掛金が1億33百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ40百万円減少し45億11百万円となりました。これは主に買掛金が56百万円、未払金が43百万円、長期借入金が36百万円それぞれ減少する一方、その他の流動負債が97百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ10億24百万円増加し48億38百万円となりました。これは前期決算の剰余金の配当1億17百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益1億37百万円の計上及び新株発行による増資10億24百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、国内外の経済減速が懸念されるなど、予断を許さない状況が続くものと思われま

す。そのような中、当社グループは、お客様満足度のさらなる向上に努めるとともに、高品質の商品とサービスのご提供をとおして、企業価値の向上を図ってまいります。

なお、平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年5月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社及び国内連結子会社では主に定率法（ただし、建物（建物附属設備を除く）については定額法）を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より当社及び国内連結子会社において定額法に変更しております。

当社グループでは、増改築する古賀工場の生産設備が本格稼働するのを契機に、製造設備の内容や使用状況、生産ラインの見直し等を検討した結果、当社及び国内連結子会社の有形固定資産は今後每期安定的に稼働し、使用する見通しであるため、定額法による減価償却が合理的であると判断いたしました。

また、レストラン設備については、大都市部を中心に出店することを契機に、有形固定資産の使用状況を見直しました。その結果、既存店舗については客数が比較的安定しており、新規出店店舗についても長期的な視野で運営されることから、耐用年数にわたり一定額の費用が計上される定額法が実態に即していると判断したためあります。

これにより、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ20,574千円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,265,225	1,944,733
預け金	41,935	32,419
売掛金	1,403,435	1,269,663
商品及び製品	110,938	114,847
仕掛品	3,091	3,581
原材料及び貯蔵品	128,385	127,668
繰延税金資産	19,201	10,894
その他	131,675	109,567
貸倒引当金	△3,668	△2,921
流動資産合計	3,100,222	3,610,454
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,425,203	1,465,650
土地	2,006,202	2,006,202
その他(純額)	814,594	1,229,381
有形固定資産合計	4,246,001	4,701,234
無形固定資産	45,500	41,860
投資その他の資産		
敷金及び保証金	457,097	467,806
保険積立金	344,878	350,508
その他	191,391	197,883
貸倒引当金	△19,991	△19,837
投資その他の資産合計	973,376	996,360
固定資産合計	5,264,877	5,739,454
資産合計	8,365,099	9,349,909

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	496,943	440,195
短期借入金	1,900,000	1,900,000
1年内返済予定の長期借入金	145,008	145,008
未払金	439,548	396,262
未払法人税等	90,277	86,407
賞与引当金	47,385	27,706
その他	215,645	313,577
流動負債合計	3,334,807	3,309,159
固定負債		
長期借入金	272,486	236,234
役員退職慰労引当金	668,707	676,745
退職給付に係る負債	57,962	61,959
資産除去債務	57,484	64,844
その他	160,443	162,889
固定負債合計	1,217,083	1,202,672
負債合計	4,551,891	4,511,831
純資産の部		
株主資本		
資本金	474,400	986,410
資本剰余金	506,645	1,018,655
利益剰余金	2,789,921	2,810,411
自己株式	△495	△495
株主資本合計	3,770,471	4,814,981
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,204	24,384
為替換算調整勘定	6,532	△1,288
その他の包括利益累計額合計	42,737	23,095
純資産合計	3,813,208	4,838,077
負債純資産合計	8,365,099	9,349,909

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	2,521,043	2,596,570
売上原価	995,666	1,005,492
売上総利益	1,525,376	1,591,077
販売費及び一般管理費	1,275,109	1,349,357
営業利益	250,267	241,720
営業外収益		
受取利息	163	132
受取配当金	133	113
為替差益	834	—
貸倒引当金戻入額	—	883
その他	180	695
営業外収益合計	1,311	1,823
営業外費用		
支払利息	2,741	3,347
新株発行費	—	10,547
為替差損	—	760
その他	629	448
営業外費用合計	3,370	15,103
経常利益	248,208	228,440
特別利益		
固定資産売却益	1,564	—
特別利益合計	1,564	—
特別損失		
固定資産除却損	1,536	36
特別損失合計	1,536	36
税金等調整前四半期純利益	248,236	228,403
法人税、住民税及び事業税	82,734	80,078
法人税等調整額	14,198	10,421
法人税等合計	96,933	90,500
四半期純利益	151,303	137,903
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△321	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	151,624	137,903

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	151,303	137,903
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,043	△11,820
為替換算調整勘定	1,289	△7,820
その他の包括利益合計	12,332	△19,641
四半期包括利益	163,635	118,262
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	163,810	118,262
非支配株主に係る四半期包括利益	△175	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年6月15日を払込期日とする公募による新株式の発行を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、資本金が512,010千円、資本準備金が512,010千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が986,410千円、資本準備金が1,028,932千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等の 賃貸)事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,869,726	614,167	37,149	2,521,043	—	2,521,043
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	487	487	△487	—
計	1,869,726	614,167	37,637	2,521,531	△487	2,521,043
セグメント利益 又は損失(△)	633,044	△11,905	16,085	637,224	△386,957	250,267

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は386,957千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等の 賃貸)事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,923,485	631,605	41,478	2,596,570	—	2,596,570
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	487	487	△487	—
計	1,923,485	631,605	41,965	2,597,057	△487	2,596,570
セグメント利益 又は損失(△)	650,423	△25,371	22,540	647,593	△405,873	241,720

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は405,873千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更(有形固定資産の減価償却方法の変更)」に記載のとおり、従来、当社及び国内連結子会社では主に定率法(ただし、建物(建物附属設備を除く)については定額法)を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益が、「食品事業」で12,560千円、「その他(本社ビル等の賃貸)事業」で720千円それぞれ増加し、セグメント損失が「レストラン事業」で5,849千円、「調整額」で1,443千円それぞれ減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。